

# 令和6年度自主防災組織研修会

## 「避難行動要支援者の個別避難計画について」

日時: 令和7年1月18日(土) 午後1時30分～

場所: いわき市文化センター1階大ホール



保健福祉部保健福祉課

# 目次

---

1	制度の背景	P1
2	制度の概要・対象者	P4
3	避難行動要支援者名簿の作成・共有	P5
4	避難行動要支援者個別避難計画の作成・共有	P7
5	取組み	P13



# 1 制度の背景

平成16年に発生した新潟県等の豪雨災害や新潟県中越地震等の大規模災害において、災害時要援護者の避難の遅れ等による被害が認められたことから、国は、**全国の市町村に災害時要援護者避難支援策の具体化に積極的に取り組むよう求めた。**

平成23年の東日本大震災を受け、**平成25年6月に災害対策基本法が改正され、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務化。**

令和元年台風19号等の近年の災害においても多くの高齢者や障がい者等が被害に遭われている状況から、実効性のある避難支援に向けて、**令和3年5月にも災害対策基本法が改正され、市町村に避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成が努力義務化。**

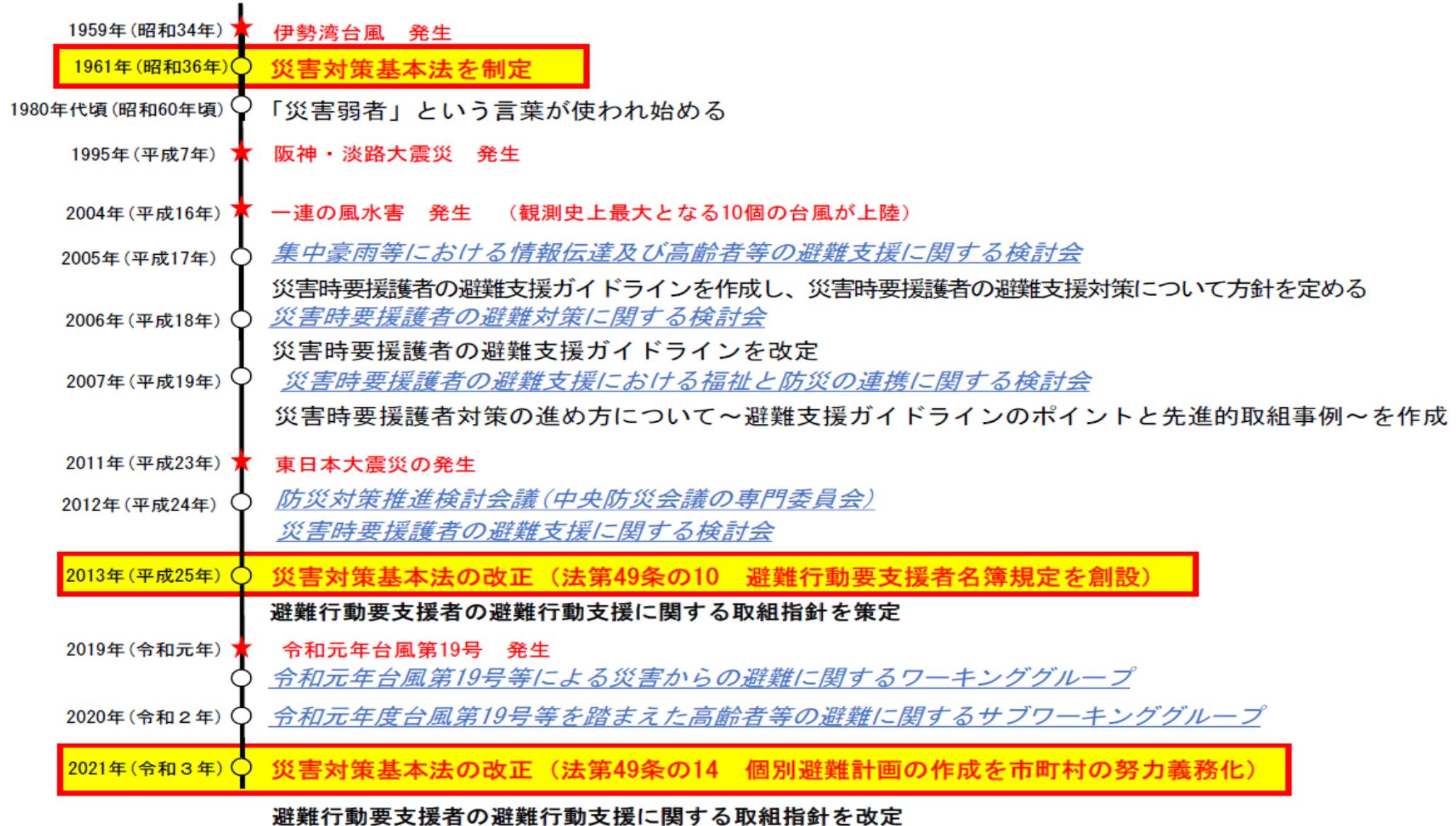
法改正を踏まえ、本市においても、

～「逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ」を目指して～

令和4年2月1日に市長記者会見により、避難行動要支援者支援制度に係る要支援者への新たな対応として、「個別避難計画」の作成を進めていくことを公表。

災害時に自力で避難することが困難な要介護者や障がいのある方など「避難行動要支援者」について、災害時の円滑かつ迅速な避難支援等に繋げるため、市が訪問調査等を実施し、個別避難計画の作成を進めていく。

## 避難行動要支援者の避難行動支援に関する制度的な流れ



## 2 制度の概要・対象者

在宅で生活する方で災害時に自力での情報収集が難しく、避難にあたって特に支援が必要な方(避難行動要支援者)が、災害時における支援を地域の中で受けられ、安全・安心に暮らすことができるようにする制度。

- ① 要介護認定3～5の認定を受けている者
- ② 身体障害者手帳1、2級を所持する者
- ③ 知的障害で療育手帳Aを所持する者
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持する者
- ⑤ 指定難病医療受給者証を所持する方のうち医療措置を受けている者
- ⑥ 上記①～⑤に該当しない方で災害時の避難に支援が必要な者

### 3 避難行動要支援者名簿の作成・共有

#### ○ 避難行動要支援者の名簿を作成 (年4回)



情報共有

要介護3~5

身障手帳1~2級

療育手帳A

精神障害者手帳1級

指定難病(医療措置あり)

その他希望者等

#### ○ 名簿情報を地域の関係者と共有(※同意者限定) (年2回)

地区防災組織・行政区

消防団

民生・児童委員

地域包括支援センター

社会福祉協議会

警察機関



いざという時の

**「円滑かつ迅速な避難支援等の実施」**に繋げる

## 避難行動要支援者名簿登録者内訳(R6.2月末名簿による)

登録区分 ※		避難行動 要支援者	河川洪水浸 水想定区域	うち50cm 以上	
				河川洪水浸 水想定区域	土砂災害 警戒区域
1	要介護認定3～5	4,808	2,076	1,783	413
2	身体障害者手帳1～2級	5,987	2,689	2,325	452
3	療育手帳A	705	339	288	58
4	精神障害者手帳1級	173	63	58	11
5	指定難病(医療措置)	128	51	45	9
6	その他希望者等	3,620	1,532	1,353	337
実人数		14,203	6,249	<b>A 5,413</b>	<b>B 1,173</b>

※登録区分は1人で重複している方も  
いるため合計しても実人数とは一致しない

**個別避難計画対象者:6,445人**  
※AかつBの対象者が141名いるためA+Bではない

## 4 避難行動要支援者個別避難計画の作成・共有

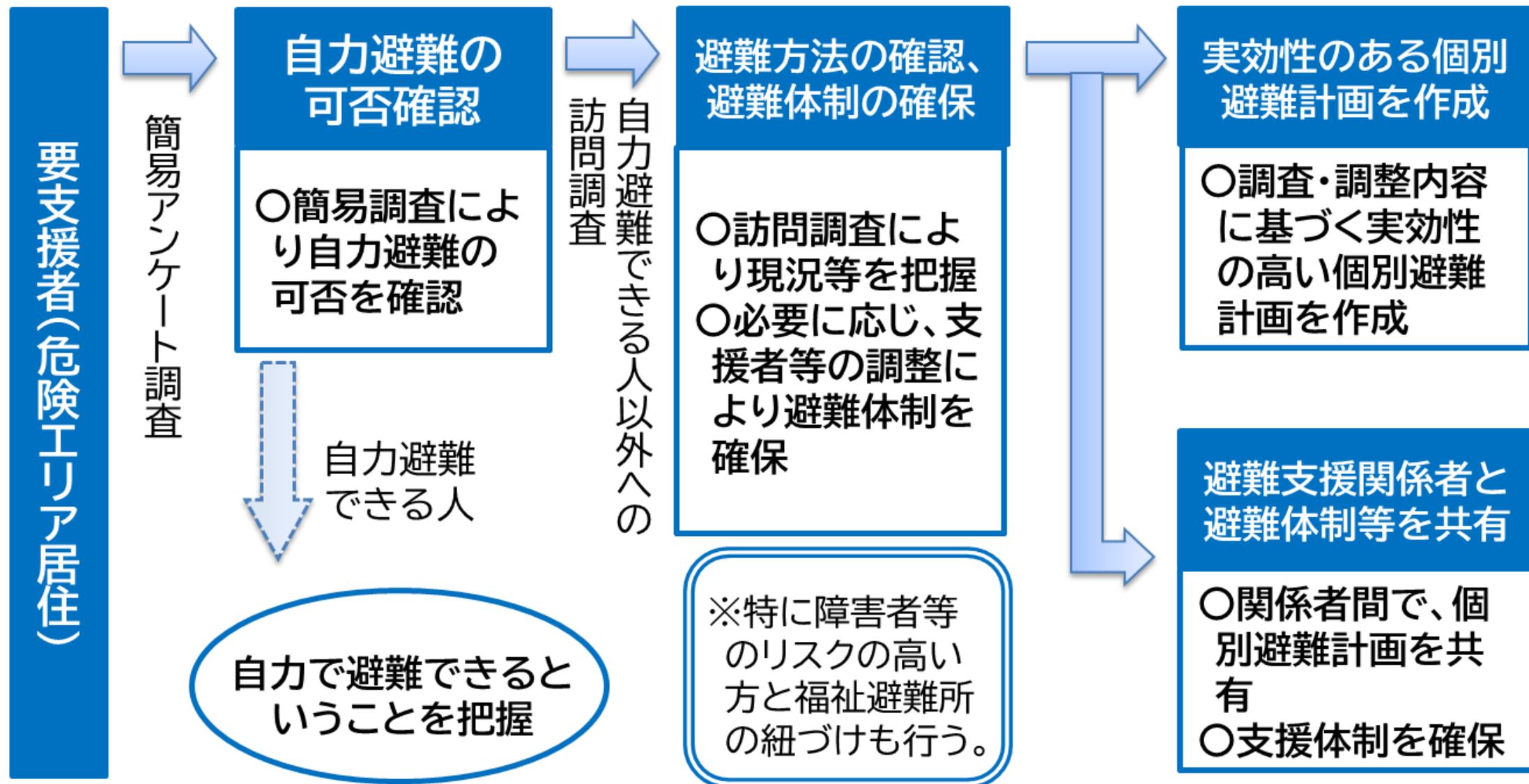
### 基本的な考え方

危険エリアに居住する全ての要支援者が、災害時に、避難できる体制を整備する。

区分		対応	優先度
危険エリア に居住	自力で避難 できない	全ての要支援者の個別避難 計画を作成	高
	自力で避難 できる	要支援者の現況の把握に努 める	
危険エリア外に居住		関係者への「避難行動要支援者名 簿」の情報提供の同意意思を確認	低

※ 危険エリア:河川浸水深50cm以上、または、土砂災害警戒区域と設定

# 個別避難計画の作成方法



## 調査内容

### 簡易アンケート調査

- 自力避難の可否
- 避難行動支援が可能な家族や近隣住民等の有無
- 想定される避難先
- 居住状況(在宅・施設入所・入院)



### 訪問調査

より具体的な内容を聴き取り

+

(支援者がいない場合)

#### 支援体制の調整

- 親類や近隣住民との関係性、利用している福祉サービス等を確認し、支援者を調整
- 必要に応じ、行政区等の地域関係者と調整

## 個別避難計画の作成状況(R6.12月末)

避難行動要支援者 名簿登録者 A	Aのうち 危険エリア B	Bのうち 個別避難計画作成済 C	作成率 (C/B)
14,203人	6,445人	<b>1,394人</b> (うち自力避難可) 1,078人 (うち自力避難不可) 316人	<b>21.6%</b> 16.7% 4.9%
		(参考:名簿登録者全体) (C/A)	9.8%

※A及びBはR6.2月末名簿による

# 個別避難計画の内容

## 水害（大雨・洪水等）にかかる個別避難計画

大雨に伴う災害は天気予報やハザードマップ等を確認することにより、事前に予想することができる災害です。災害が起きそうなどときにはこの計画の内容を参考にし、早めの避難準備を心がけてください。

また、地域の方々による災害時の支援は、地域の方々の助け合い・支え合いの精神に基づくもので、法的な義務や責任を負うものではありません。

No		888		作成日		令和6年7月16日					
フリガナ	ウメト タロウ		生年月日	昭和41年10月1日							
氏名	梅本 太郎		年齢	99 歳	性別	男					
住所	平字梅本21番地		建物階数	3 階							
			居住階数	1 階							
同居家族	人数	1 人		氏名	梅本 花子	続柄	妻				
				氏名		続柄					
本人連絡先	電話	22-1111		携帯	090-0000-0000						
	FAX			メール							
災害の危険度	水害		0.5~3m未満								
	土砂災害		土砂災害警戒区域外								
緊急時連絡先	氏名	梅本 花子	続柄	妻	電話	080-0000-0000					
	氏名	梅本 二郎	続柄	長男	電話	070-0000-0000					
避難場所	①	平第一小学校									
	②	長男宅									
避難支援者	①	氏名	梅本 花子		電話	080-0000-0000					
		住所	平字梅本21番地		続柄	妻					
	②	氏名	梅本 二郎		電話	070-0000-0000					
		住所	中央台飯野四丁目5番地の1		続柄	長男					
災害時に配慮しなくてはならない事項	<input type="checkbox"/> 立つことや歩行ができない <input type="checkbox"/> 音が聞こえない（聞こえにくい） <input type="checkbox"/> 物が見えない（見えにくい） <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解が難しい <input checked="" type="checkbox"/> 危険なことを判断できない <input type="checkbox"/> 医療的ケア <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 酸素</td> <td><input type="checkbox"/> インシュリン</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 人工透析</td> <td></td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> その他 ( )							<input type="checkbox"/> 酸素	<input type="checkbox"/> インシュリン	<input type="checkbox"/> 人工透析	
<input type="checkbox"/> 酸素	<input type="checkbox"/> インシュリン										
<input type="checkbox"/> 人工透析											

避難所の開設状況や混雑状況等は、お手持ちの携帯、スマートフォン等で、右のQRを読み取ることで確認できます。また、いわき市ホームページや防災メール



## 水害（大雨・洪水等）にかかる避難タイムライン

警戒レベル	避難情報	自分（対象者）の行動	避難支援者の行動
1	早期注意情報	◎災害への心構えをする☑	
		<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 <input type="checkbox"/> 避難場所・避難経路の確認 <input type="checkbox"/> 持ち出し品の確認 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 <input type="checkbox"/> 対象者の状況確認 <input type="checkbox"/> 避難場所・避難経路の確認 <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	大雨・洪水・高潮情報	◎自らのタイムライン（避難行動）を確認	
		<input type="checkbox"/> 避難支援者への連絡 <input type="checkbox"/> 緊急連絡先への連絡 <input type="checkbox"/> 持ち出し品の確認 <input type="checkbox"/> 避難経路の確認 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 避難場所の確認 （一般避難所は開設しているか） <input type="checkbox"/> 対象者へ避難準備の呼びかけ <input type="checkbox"/> 避難支援関係者との連絡調整 <input type="checkbox"/> その他 ( )
3	高齢者等避難	◎危険な場所から避難	
		<input type="checkbox"/> 個別避難計画に基づく避難の開始 <div style="text-align: center; border: 2px solid red; padding: 5px; color: white; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">避難開始</div>	<input type="checkbox"/> 対象者への呼びかけ <input type="checkbox"/> その他 ( )
4	避難指示	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
5	緊急安全確保	◎命の危険・直ちに安全確保	
		<input type="checkbox"/> 緊急連絡先へ避難先を伝える	
	持ち出し品	<input type="checkbox"/> 非常食・水 <input type="checkbox"/> レインコート <input type="checkbox"/> 下着 <input type="checkbox"/> 毛布・ブランケット <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> ヘッドライト <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 電池交換式バッテリー <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> メガネ・コンタクトレンズ <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> ポリ袋 <input type="checkbox"/> 常用薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 健康保険証の写し <input type="checkbox"/> 通帳・印鑑 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

※なお、ここで示したタイムラインのはあくまで一般的な避難のイメージであり、実際の災害時の避難行動とは異なる場合があります。災害時には、このタイムラインを参考にして、ご家族や支援者と適切な避難行動をとってください。

## 個別避難計画作成にあたっての課題

- (1) 近所に頼れる親類や知人がいない要支援者に対する支援者の確保及び調整
- (2) 支援者となることへの不安等の解消
- (3) 個別避難計画の必要性の理解促進

上記の中でも大きな課題として、

### 支援者の確保が何よりも優先

(支援者がいない理由)

- 独居世帯、近くに親類親族がいない、近所付き合いがない etc
- 令和4・5年度の調査でも、80人程度の方が支援者がおらず避難が難しい状況となっている。



支援者が必要な方と身近に接することができる  
自主防災組織の皆様をはじめ、**地域における共助・支援**  
**(支援者との紐づけ)**が必要不可欠となっている。

## 5 取組み

①避難行動要支援者名簿の更新(年4回)と関係者への共有

②支援者の確保・働きかけ(自治会、自主防災組織、民生児童委員、介護サービス事業者等)

③個別避難計画の作成・更新 ← 効率的・効果的なしくみを検討

是非とも、「逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ」に向け、支援者となっただけ  
るよう、皆様の御理解と御協力をお願いします。